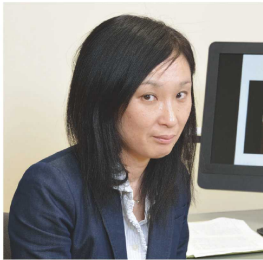


基盤教育機構

キーワード

学校臨床心理学、発達心理学、障害学生支援



教授 / 博士（教育学）

荒木 史代

Fumiyo Araki

学歴

東京学芸大学 大学院 連合学校教育学研究科 博士課程 修了

経歴

福井工業大学学生生活センターカウンセラー（臨床心理士）
福井県公立学校派遣カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

障害のある学生の移行支援・修学支援・就労支援
小学校・中学校・高校での心理教育（ストレスマネジメント、社会的スキルトレーニング等）

メールアドレス

f-araki@fukui-ut.ac.jp



主な研究と特徴

「地域社会で活躍できる障害学生の育成」

2024年4月の「障害者差別解消法」改正法の施行により、行政機関や事業者に対して、障害による差別の禁止や合理的な配慮が義務化されました。高等教育機関として、大学においても障害学生支援体制の整備が急務となり、これまでのスクールカウンセラーや学生相談カウンセラーとしての経験を活かし、その構築プロセスの検証に取り組んでいます（荒木ら、2017）。

具体的には、障害のある学生の入学前から卒業後までの支援体制の整備を目的とし、大学における移行支援（高校から大学への引継ぎ）、修学支援（大学での修学面での支援；図2）、就労支援（大学卒業後の就労に向けた支援）について、その組織的な支援システムの構築とその検証を行っています。

例えば、障害のある学生の就労支援に関しては、学内での組織連携にとどまらず、地域の就労支援機関と連携し、在学期間中からのインターンシップや就労移行支援、就労継続支援を行っています。この活動を通して、障害のある方々が地域で就労し、活躍できる社会をめざし、地域の障害者雇用・就労支援機関の関係者、企業の人事・ダイバーシティを担当する関係者、高校・大学での障害のある生徒・学生支援・キャリア教育や就職支援に関わる教職員のネットワーク形成を目的としたプラットフォームづくりにも貢献したいと考えています。



図1.「障害学生支援と就労支援における情報交換会」(2023年)

「学校教育における心理教育」

これまで、15年以上にわたり、小学校、中学校、高校においてスクールカウンセラーとして勤務してきた経験をふまえ、不登校やいじめ等の学校不適応を予防し、子どもたちの自己肯定感やソーシャルスキル等の成長を促進する目的で、学校教育における心理教育プログラムの企画や実践に関する研究に取り組んできました。

例えば、小学校において、児童の自尊心、ソーシャルスキル、ストレスマネジメントスキルの向上を目的とした、小学1年生から小学6年生まで対象の「対人スキルアッププログラム」の開発、実践に取り組みました。4年間のプログラム実践の効果を検証するために、この小学校を卒業した生徒対象に効果測定を行い、プログラムを体験した生徒（実践群）とプログラムを体験しなかった生徒（統制群）を比較した結果、プログラム実践群の自尊心、ソーシャルスキル、ストレスマネジメントスキルが高いという成果が得られています（荒木、2013）。

これらの実践経験や研究成果をふまえ、近年、学校臨床心理学の領域で注目されている特定の問題の予防教育として開発された「自殺予防教育（例、SOSの出し方に関する教育；東京都教育委員会）」や「心の減災教育（災害時に生じる心理的影響についての理解と適切に対処するためのスキルを育成する教育；窪田ら、2016）」の研修や講習も実践しています（図2）。



図2. 高校生対象の「心の教育講演会」(2019年)

今後の展望

「カウンセラー（心理援助職）の組織コンサルテーション機能」

これまでスクールカウンセラーとして、また学生相談カウンセラーとして、「教育場面において、子どもたち（児童・生徒・学生）の学校適応を促進し、不適応を予防するために、心理学の専門家として行える支援は何か？」ということに着目して研究に取り組んできました。

前述した「学校教育における心理教育」は、学校教育において、子どもたち自身に提供するプログラムの開発や実践を目的としたものです。また「地域で活躍できる障害学生の育成」は、学生の学びを保障するための組織や支援システムの整備を目的としたものです。教育の場で、子どもたちを支援する環境を整え、また支援プログラムを提供することは、ともに、子どもたちの学校適応の促進、不適応の予防につながると考えています。

今後は、これまであまり研究されてこなかった、心理援助職の組織コンサルテーション機能に着目し、学内連携や地域連携を含めた、組織や支援システムの構築に「心理学の専門家がどのように寄与できるのか？」について研究を進めていく予定です。

所属学会

日本発達心理学会会員（平成7年～現在まで）
日本心理臨床学会会員（平成9年～現在まで）
日本教育心理学会会員（平成16年～現在まで）
日本学生相談学会会員（平成16年～現在まで）
日本カウンセリング学会会員（平成20年～現在まで）

主要論文・著書

荒木史代(2013) 一般型の予防的支援-心理教育「対人スキルアッププログラム」の実践から、子どもの心と学校臨床, Vol.8, 71-80.

荒木史代・竹田周平・譽田優子・田邊奈美・笠井利浩・濱本一哉・小柳喜代美・山中大貴(2017) 地方中規模私立大学における障害学生支援体制の構築プロセス CANPUS HEALTH, 54(2), 192-197.

荒木史代(2020) 生徒指導の進め方/校内体制・チーム学校・危機管理 (Pp.144-149.) 橋本創一ら編 キーワードで読み解く 特別支援教育・障害児保育&教育相談・生徒指導・キャリア教育 福村出版